

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味

**警告**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

**注意**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号

**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

**補足**

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>

**注意**

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の施工業者による施工をお願いします。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 指定寸法は必ず守ってください。
- 前もって設置場所の確認を行なってください。給湯器、暖房器などの排気熱が製品に直接当たらないように600mm以上離して施工してください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

<施工上のご注意>

**注意**

- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を養生してください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

<基礎工事について>

⚠ 注意

- 基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めています。現場によって（堅牢な地盤、軟弱な地盤など）基礎部のコンクリートの量（体積）を十分配慮してください。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食の原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。

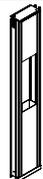
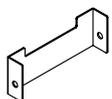
<電気配線工事について>

⚠ 注意

- AC100Vの電線の埋設工事、配線作業に関しては、電気工事店の有資格者に依頼してください。
- AC100V用の照明器具は、D種接地工事を行なってください。
- DC12V仕様の照明器具には、専用トランスと電源ケーブルが必要です。AC100Vを接続しないでください。
- 照明用配線と信号線は、電線管による隔離をしてください。
- 照明用配線にはVVFφ1.6またはφ2.0の3芯単線（アース線を含む）を、テレビドアホン子機用信号はVCTF0.75mm²のより線またはφ1.0単線2芯を、オプションのカメラ子機を使用する場合には、VCTF0.75mm²のより線またはφ1.0単線4芯を準備してください。
- 照明器具には「EEスイッチ」、「明るさセンサー」または「入切スイッチ」を別途設けてください。
- AC100V仕様のポール内部には、松下電工製CD管 呼び16（内径φ16、外径φ22）を使用しています。家側からの配管はPF管 呼び16を使用してください。
- 機器に接続する電圧、極性を間違えないでください。故障の原因になります。

■梱包明細表

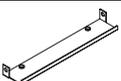
【1】P1型・P1R型セット

名称	略図	員数	
		P1型	P1R型
P1型本体		1	—
P1R型本体		—	1
下機端部キャップ		2	2

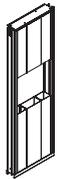
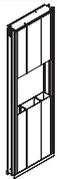
【1】P1型・P1R型セット（つづき）

名称	略図	員数	
		P1型	P1R型
ポスト金具A		4	4
クッション材		2	2
【1-1】φ4×10ナベテクスネジ		4	4
【1-2】φ4×13薄平ピラスネジ D=7		8	8
【1-3】φ5×12トラス タッピンネジ3種 D=10		4	4
【1-4】M5平座金		2	2
【1-5】M5樹脂座金		2	2

【2】 P2型・P2R型セット

名 称	略 図	員 数	
		P2型	P2R型
P2型本体		1	—
P2R型本体		—	1
下棧端部キャップ		2	2
ポスト金具A		4	4
クッション材		2	2
【2-1】 φ4×10ナベテクスネジ		4	4
【2-2】 φ4×13 薄平ピラスネジ D=7		8	8
【1-3】 φ5×12トラス タッピンネジ3種 D=10		4	4
【2-4】 M5平座金		2	2
【2-5】 M5樹脂座金		2	2

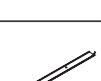
【3】 P3型・P3R型セット

名 称	略 図	員 数	
		P3型	P3R型
P3型本体		1	—
P3R型本体		—	1
下棧端部キャップ		2	2
ポスト金具B		4	4

【3】 P3型・P3R型セット(つづき)

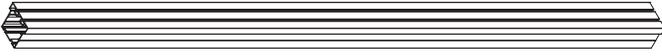
名 称	略 図	員 数	
		P3型	P3R型
クッション材		2	2
【3-1】 φ4×10ナベテクスネジ		4	4
【3-2】 φ4×13 薄平ピラスネジ D=7		8	8
【3-3】 φ5×12トラス タッピンネジ3種 D=10		4	4
【3-4】 M5平座金		2	2
【3-5】 M5樹脂座金		2	2

【4】 P4A型・P4AR型・P4B型・P4BR型セット

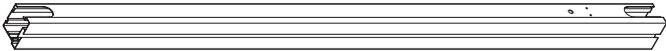
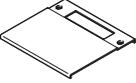
名 称	略 図	員 数			
		P4A型	P4AR型	P4B型	P4BR型
P4A型本体		1	—	—	—
P4AR型本体		—	1	—	—
P4B型本体		—	—	1	—
P4BR型本体		—	—	—	1
下棧端部キャップ		2	2	2	2
クッション材		2	2	2	2
ポストコーナー金具		3	3	3	3
【4-1】 φ4×10ナベテクスネジ		4	4	4	4
【4-2】 φ4×20ナベ タッピンネジ2種 G=5		6	6	6	6

■梱包明細表 つづき

【5】端柱セット

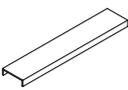
名 称	略 図	員 数	
		H1400 H1600	H2000
端柱A 左		1	1
端柱A 右		1	1
本体受金具		2	2
柱化粧材		2	2
CD管		2	2
湿気防止材A		1	1
湿気防止材B		1	1
調整金具裏板		8	12
【5-1】φ4×13トラス タッピンネジ3種 D=8		4	4
【5-2】φ4×13 薄平ピアスネジ D=7		2	2
【5-3】φ4×30ナベテクスネジ		2	2
取付説明書 (F217)	—	1	1
取扱説明書 (UF037)	—	1	1

【6】受柱セット

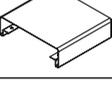
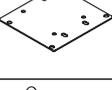
名 称	略 図	員 数	
		右用	左用
端柱A 左		—	1
端柱A 右		1	—
受柱A 左		1	—
受柱A 右		—	1
本体受金具		2	2
片錠受け裏板		1	1
外開きストライク (80mm用)		1	1
柱化粧材		2	2
CD管		2	2
湿気防止材A		1	1
湿気防止材E		1	1
【6-1】φ4×13トラス タッピンネジ3種 D=8		4	4
【6-2】φ4×13 薄平ピースネジ D=7		2	2
【6-3】φ4×30ナベテクスネジ		2	2
取付説明書 (F217)	—	1	1
取扱説明書 (UF037)	—	1	1

■ 梱包明細表 つづき

【7】 笠木セット

名 称	略 図	員 数		
		A	B	C
F・Wー笠木A		1	—	—
Fー笠木B		—	1	—
Fー笠木C		—	—	1
【7-1】 φ4×10 平タッピンネジ3種 D=8		4	4	6

【8】 端柱キャップセット

名 称	略 図	員 数
端柱キャップ		2
端柱上枠		2
【8-1】 φ4×10平タッピンネジ3種 D=8		8
【8-2】 φ4×20ナベタッピンネジ2種 G=5		6

【9】 調整金具Hセット

オプション

名 称	略 図	員 数
調整金具H 上		1
調整金具H 下		1
樹脂ワッシャー		2
【9-1】 M5×12トラス 小ネジ PW+SW		8

【10】 調整金具H 1コマ入りセット ※1

オプション

名 称	略 図	員 数
調整金具H 上		1
樹脂ワッシャー		1
【10-1】 M5×12トラス 小ネジ PW+SW		4

※1 H2000の場合に使用します。

【11】 ヒンジ キャスティナ錠用セット ※1

オプション

名 称	略 図	員 数
ヒンジ 上 カバー付		1
ヒンジキャップ		1

※1 H2000の場合に使用します。

【12】 ヒンジ 鋳物アーム錠用セット ※1

オプション

名 称	略 図	員 数
ヒンジ 上		1
ヒンジキャップ		1
ヒンジボルトキャップ		2

※1 H2000の場合に使用します。

【13】 インターホンセット

オプション

名 称	略 図	員 数
インターホン本体		1
取付説明書(※)	—	1
取扱説明書(※)	—	1

※インターホンの梱包内容は各タイプの取付説明書を参照してください。

【14】 照明セット

オプション

名 称	略 図	員 数
照明本体		1
取付説明書(※)	—	1
取扱説明書(※)	—	1

※照明の梱包内容は各タイプの取付説明書を参照してください。

【15】 縦型ポストセット

名 称	略 図	員 数
縦型ポスト本体		1
取付説明書(※)	—	1
取扱説明書(※)	—	1

※縦型ポストの梱包内容は各タイプの取付説明書を参照してください。

【16】 横型ポストセット

名 称	略 図	員 数
横型ポスト本体		1

【17】 口金ポストセット

名 称	略 図	員 数
口金ポスト本体		1
取付説明書(※)	—	1
取扱説明書(※)	—	1

※口金ポストの梱包内容は各タイプの取付説明書を参照してください。

【18】 サインセット

オプション

名 称	略 図	員 数
サイン本体		1
取付説明書(※)	—	1

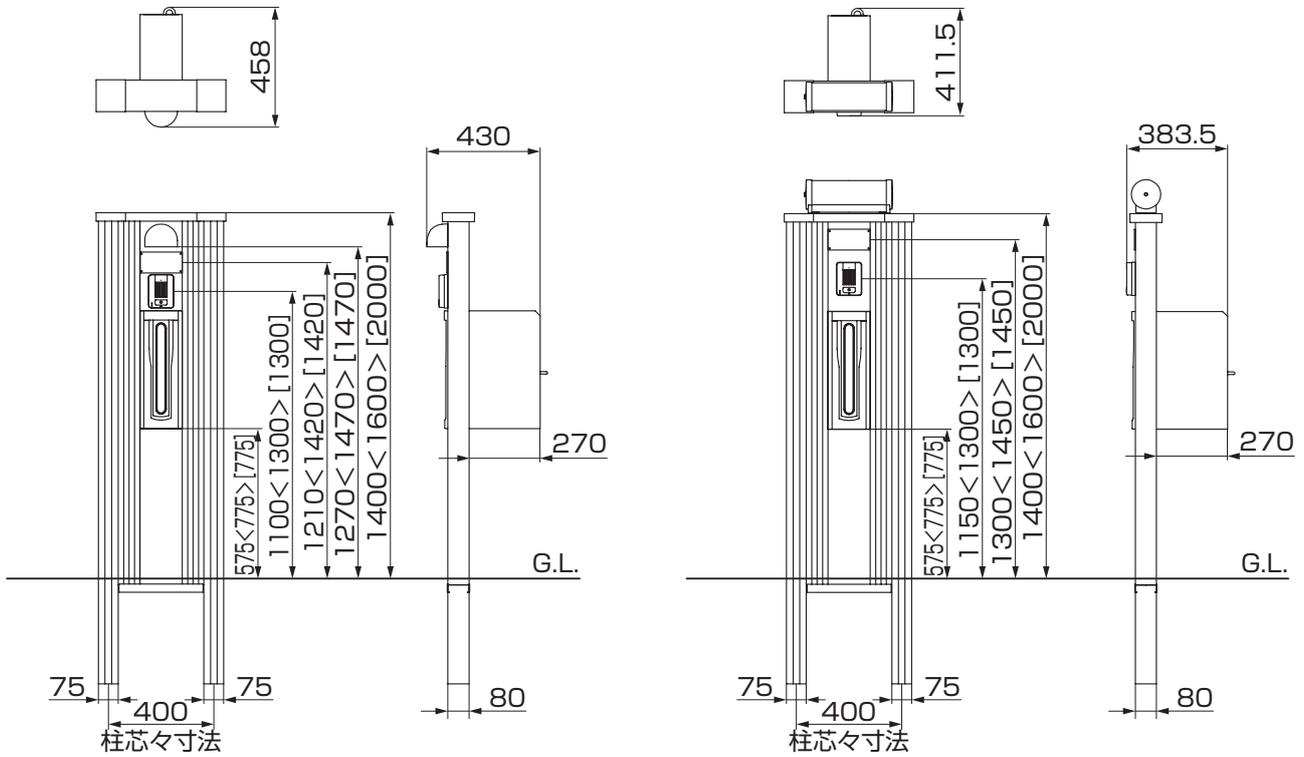
※サインの梱包内容は各タイプの取付説明書を参照してください。

1. 基本寸法

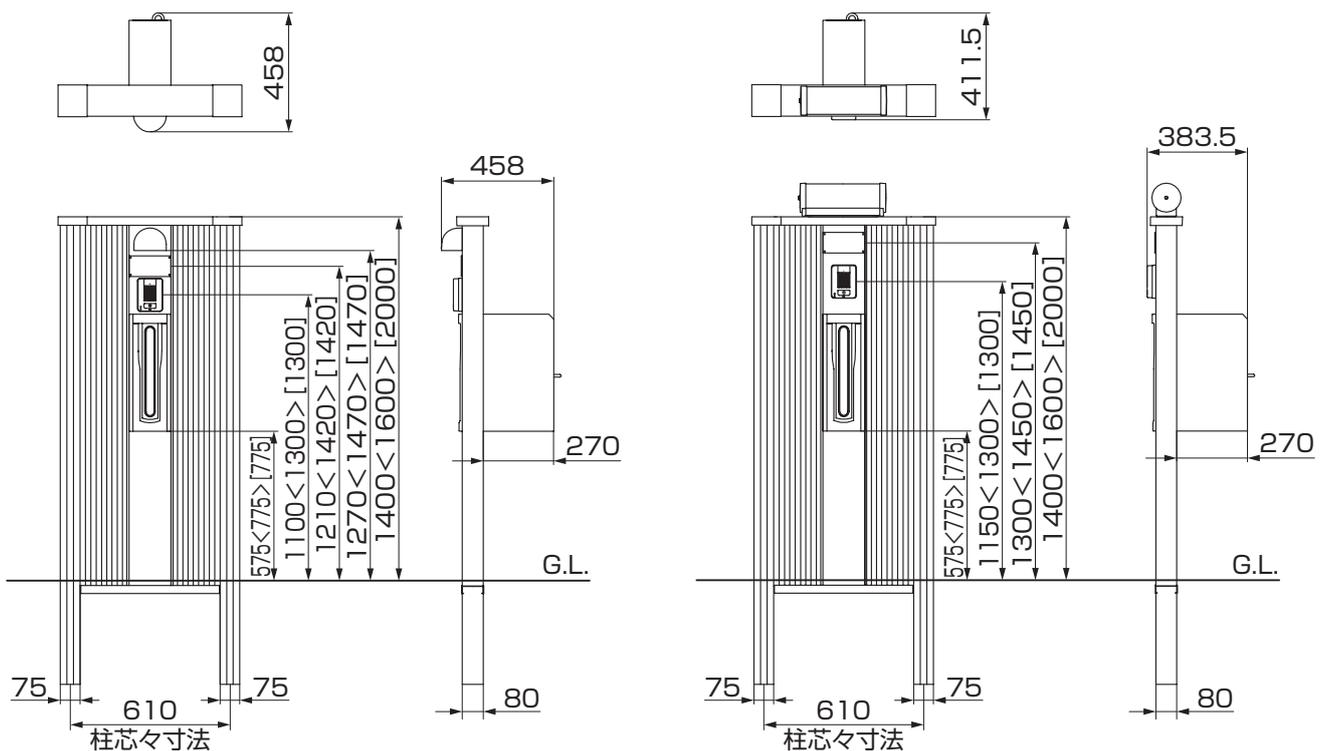
※図はH1400の場合です。< >内はH1600, []内はH2000の場合です。

※G.L.部の詳細は、「2.基礎工事」を参照してください。

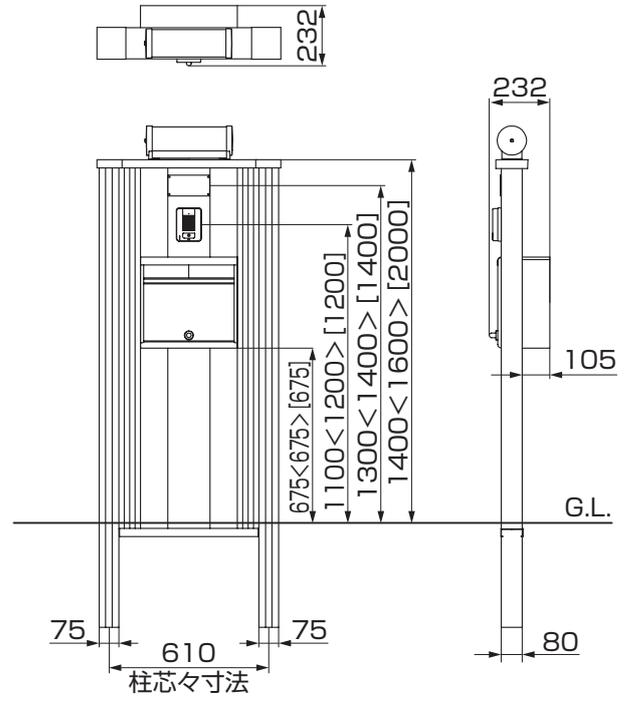
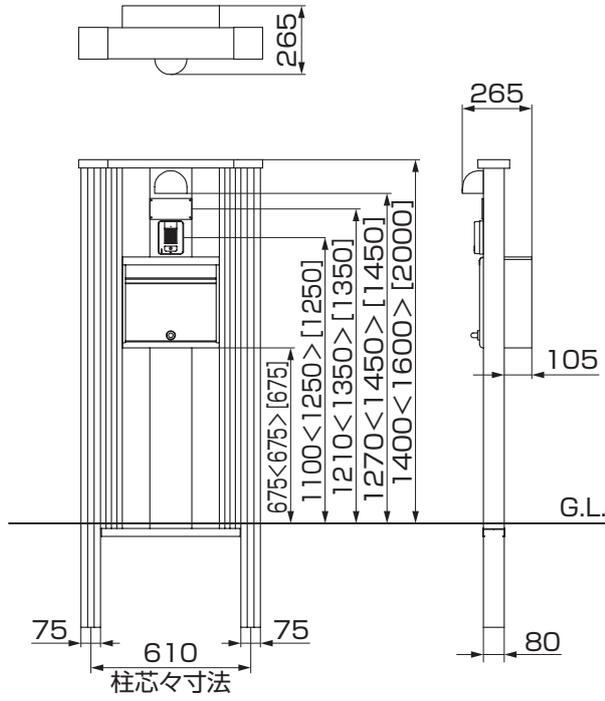
1-1 P1型・P1R型



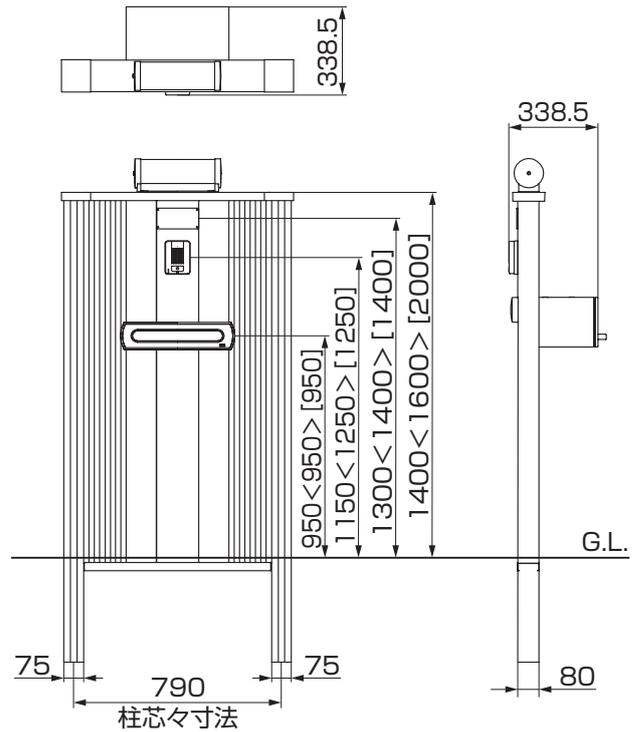
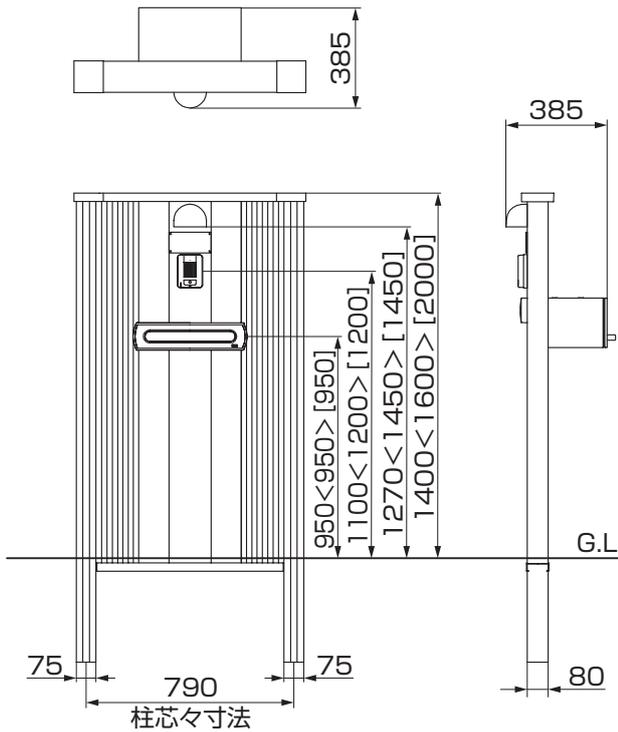
1-2 P2型・P2R型



1-3 P3型・P3R型

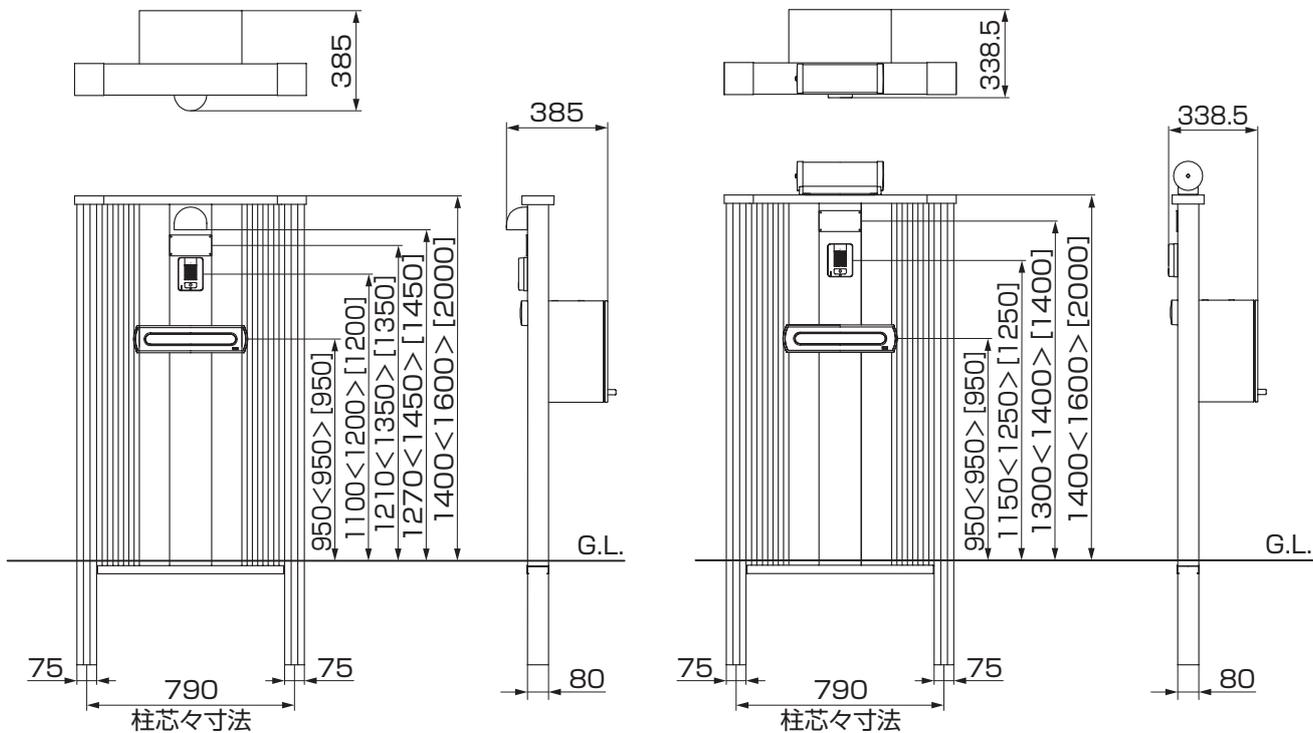


1-4 P4A型・P4AR型



1. (つづき)

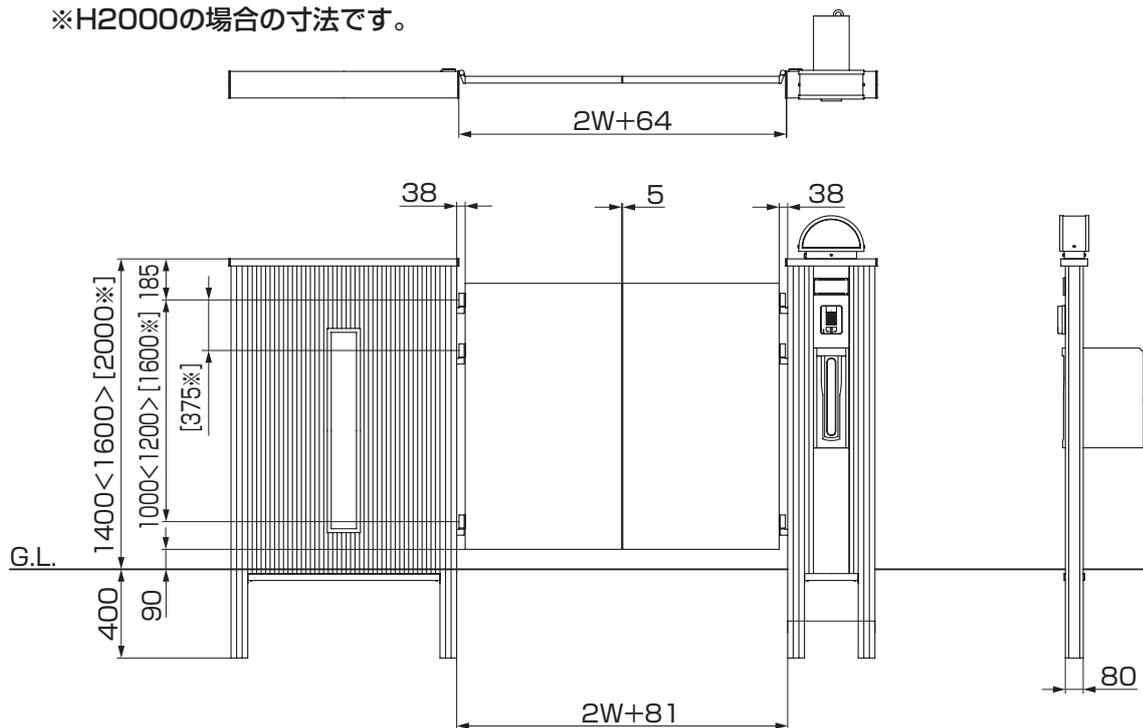
1-5 P4B型・P4BR型



1-6 門柱仕様タイプ (両開き)

(1) ウォール1型・3型

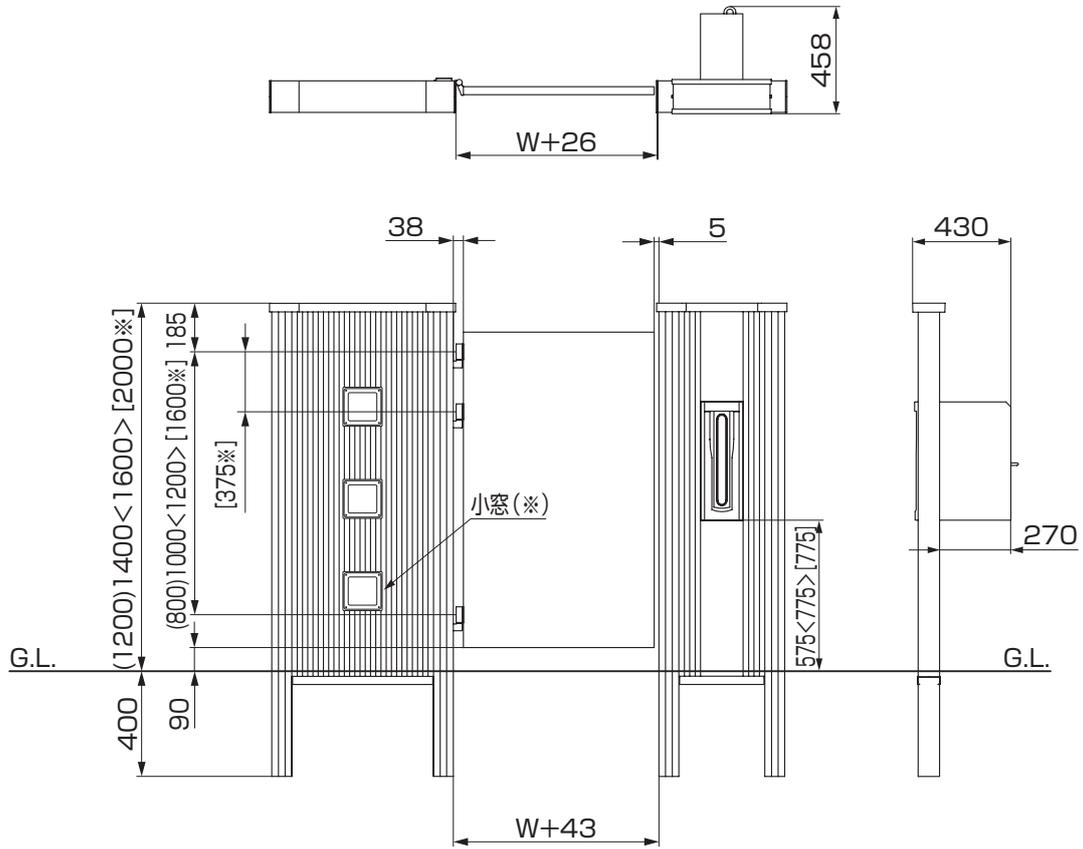
※H2000の場合の寸法です。



1-7 門柱仕様タイプ (片開き)

(1) ウォール1型・3型

※H2000の場合の寸法です。



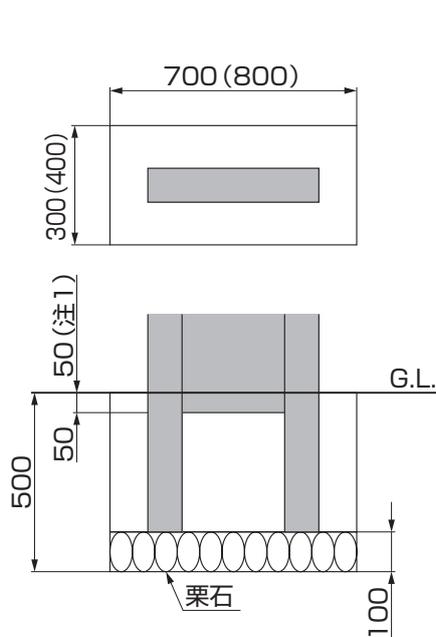
2. 基礎工事

※本体の埋込みは、「8. 柱の埋込み」および「10. 本体の取付け」を参照してください。

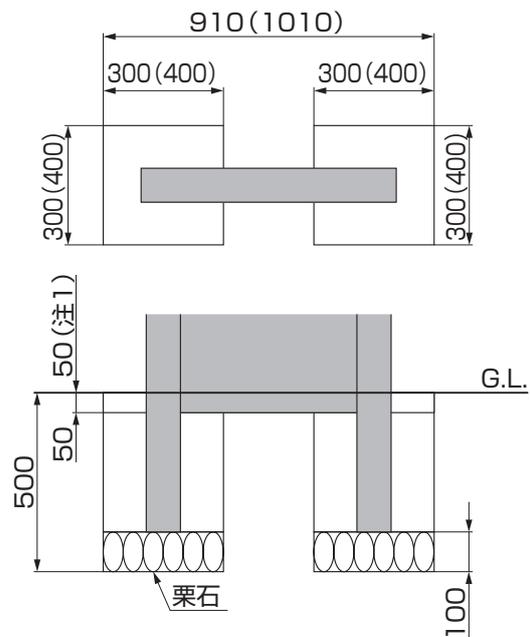
2-1 基礎寸法

※図は門扉を吊らない場合です。門扉を吊る場合は()内寸法を参照してください。

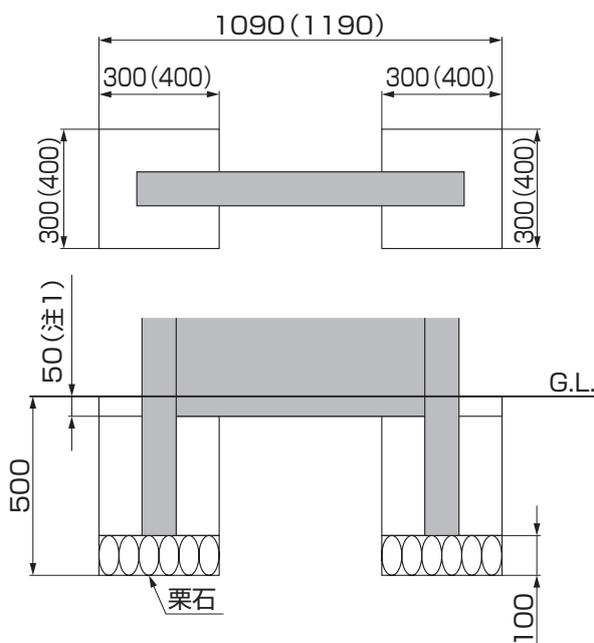
(1) P1型・P1R型の場合



(2) P2型・P2R型・P3型・P3R型の場合



(3) P4A型・P4AR・P4B型・P4BR型の場合



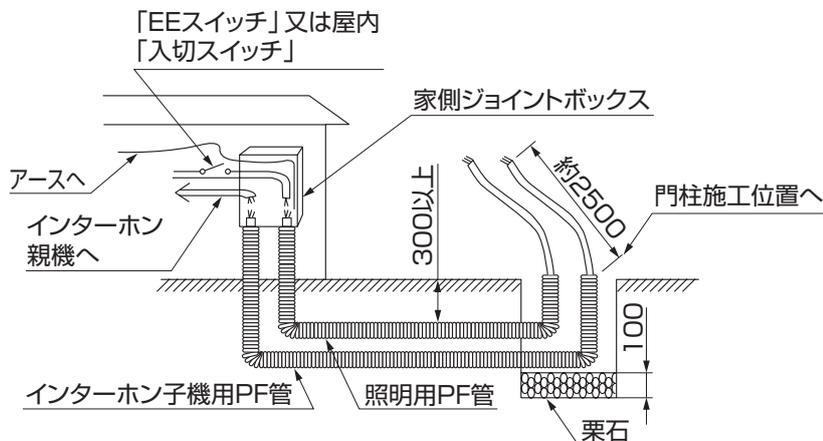
①基礎寸法図を参照して、基礎孔を掘り、栗石を敷いてください。

ポイント

- 柱の埋込み(注1)は、「8.柱の埋込み」を参照してください。
- 本体を連結させる場合の基礎は、「アーキモダン支柱・角柱取付説明書(F216)」を参照してください。

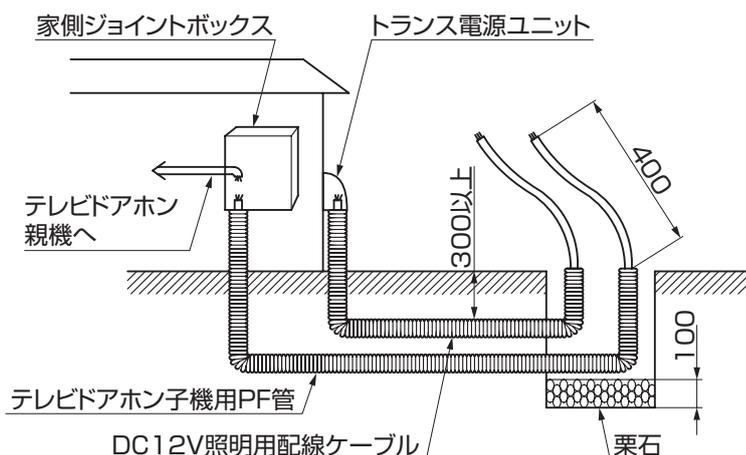
3. 基礎の施工と配線工事

3-1 AC100V仕様の場合



- ①基礎孔を掘り、基礎下に100mm厚の栗石を敷いてください。
- ②照明およびインターホン子機用の配管、配線をしてください。

3-2 DC12V仕様の場合



- ①基礎孔を掘り、基礎下に100mm厚の栗石を敷いてください。
- ②照明およびテレビドアホン子機用の配線配管をしてください。

ポイント

- DC12V照明用配線ケーブルの長さは20メートルです。

3-3 湿気防止材の取付け

※図は端柱の作業です。受柱の場合も同様の作業です。

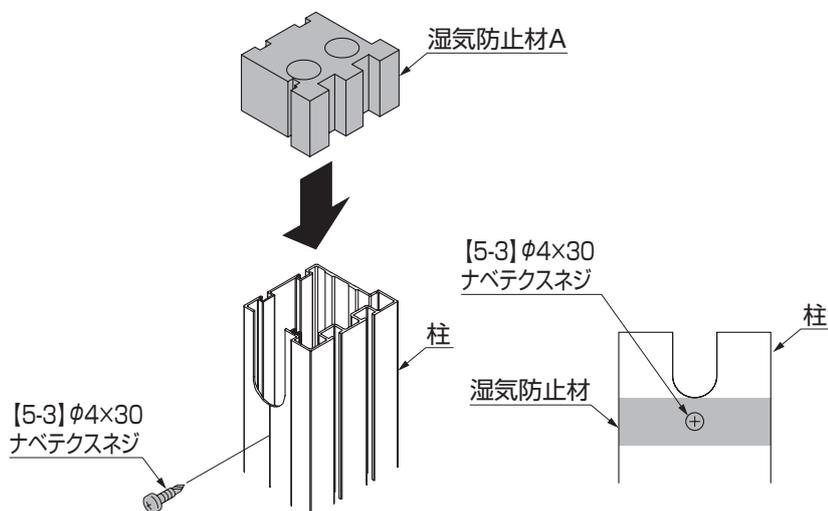


図3-1

- ①柱内にCD管および湿気防止材A、もう一方の柱に湿気防止材Bを入れて、【5-3】で固定してください。

ポイント

- 受柱には、湿気防止材Eを取付けてください。
- 柱側面部に孔加工がある側が下側です。湿気防止材A、湿気防止材B、湿気防止材Eは上側に取付けてください。
- 湿気防止材A、湿気防止材B、湿気防止材EはCD管の切り欠きの終わりまで押し込んでください。

- ②柱内のCD管に照明・インターホン子機用配線を通してください。
- ③照明・インターホン用配管、PF管と柱内のCD管をPFアダプターで連結してください。

4. 本体の組付け

4-1 インターホン子機を取付ける場合

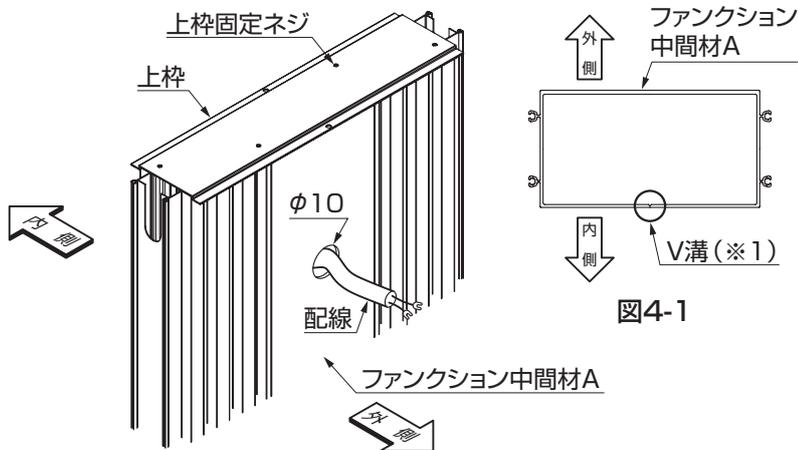


図4-1

- ① 「上枠固定ネジ」を外し、上枠を取外してください。
- ② インターホン子機を取付ける位置の中心にφ10の配線取出し用孔をあけてください。

ポイント

- ファンクション中間材Aには表裏があります。V溝(※1)側を内側にしてください。
- 連結部への取付けはさけてください。
- 取付位置は、「1. 基本寸法と各部の名称」を参照してください。

- ③ 配線を配線取出し用孔から引き出してください。
- ④ 上枠を「上枠固定ネジ」で元の位置に固定してください。

4-2 照明を正面に取付ける場合

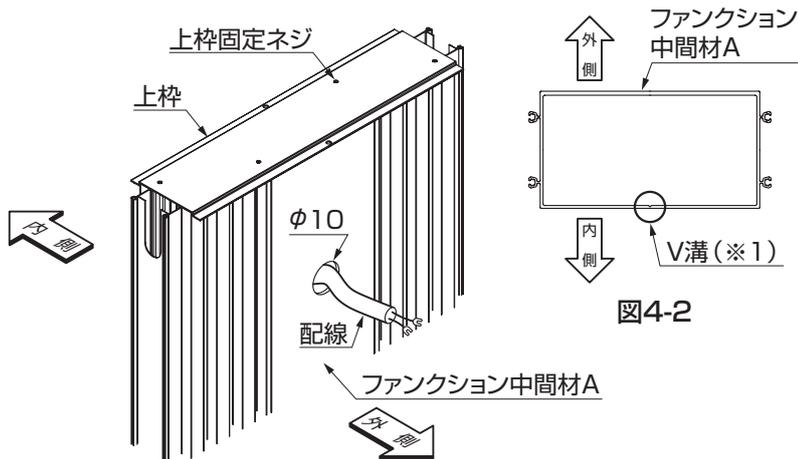


図4-2

- ① 「上枠固定ネジ」を外し、上枠を取外してください。
- ② 照明を取付ける位置にφ10の配線取出し用孔をあけてください。

ポイント

- ファンクション中間材Aには表裏があります。V溝(※1)側を内側にしてください。
- 連結部への取付けはさけてください。
- 取付位置は、「1. 基本寸法と各部の名称」を参照してください。

- ③ 配線を配線取出し用孔から引き出してください。
- ④ 上枠を「上枠固定ネジ」で元の位置に固定してください。

4-3 照明を上面に取付ける場合

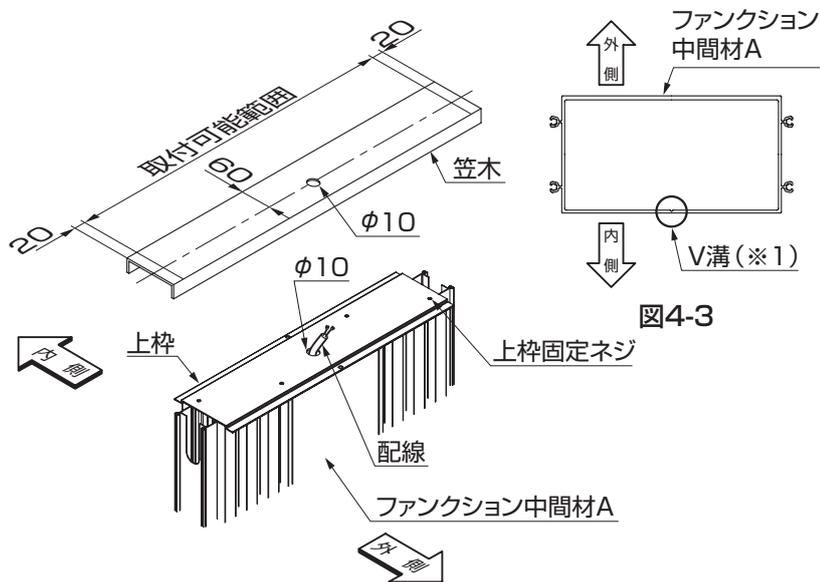


図4-3

- ① 「上枠固定ネジ」を外し、上枠を取外してください。
- ② 照明を取付ける位置の笠木、上枠にφ10の配線取出し用孔をあけてください。

ポイント

- ファンクション中間材Aには表裏があります。V溝(※1)側を内側にしてください。
- 照明を上面に取付ける場合は、笠木の取付範囲内に取付けてください。
- 連結部への取付けはさけてください。

- ③ 配線を配線取出し用孔から引き出してください。
- ④ 上枠を「上枠固定ネジ」で元の位置に固定してください。

5. 調整金具の取付け

※門扉を取付ける場合の作業です。

5-1 調整金具の勝手の変更方法

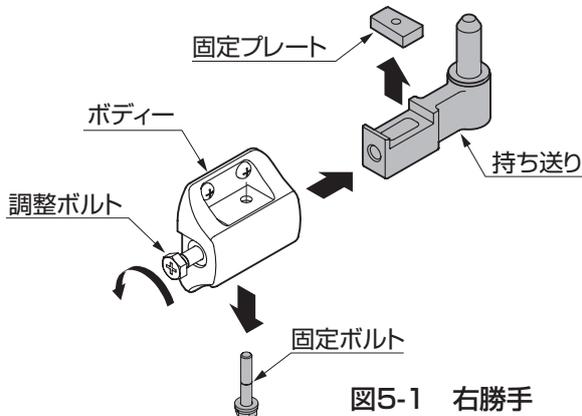


図5-1 右勝手

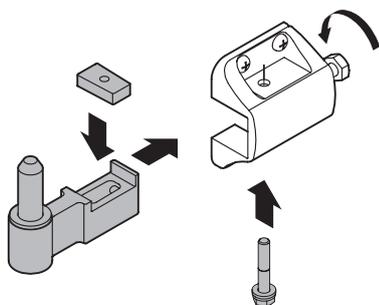
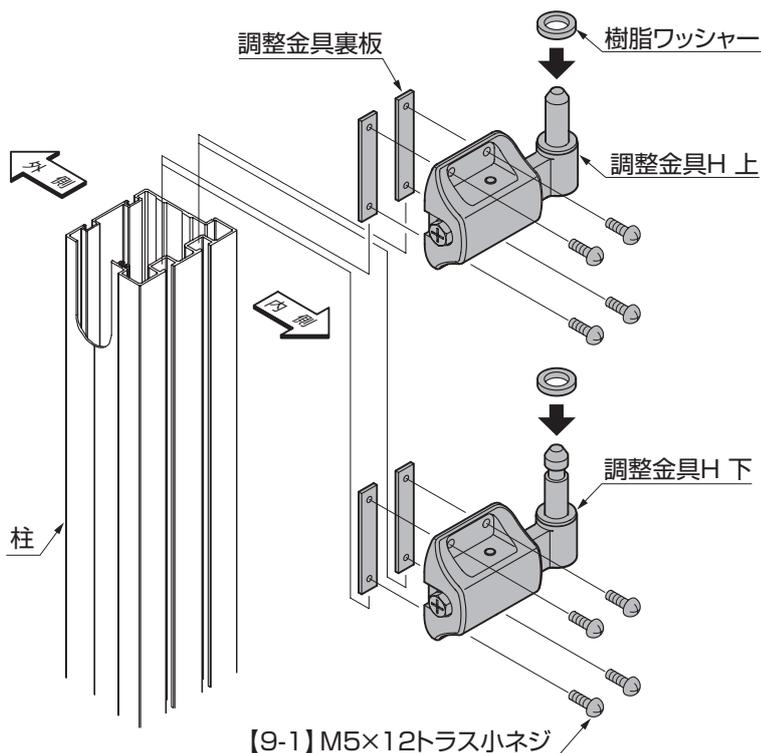


図5-2 左勝手

- ①固定ボルトを外してください。
- ②調整ボルトをゆるめて持ち送りと固定プレートを外してください。
- ③ボディの向きを変え、持ち送りに固定プレートを乗せてボディに挿入してください。
- ④調整ボルトを締めてください。
- ⑤固定ボルトを締めて、持ち送りを固定してください。

5-1 調整金具の取付け



- ①調整金具と裏板を【9-1】で仮止めしてください。
- ②裏板を柱の溝に、調整金具H 下、調整金具H 上の順に差し込んで固定してください。

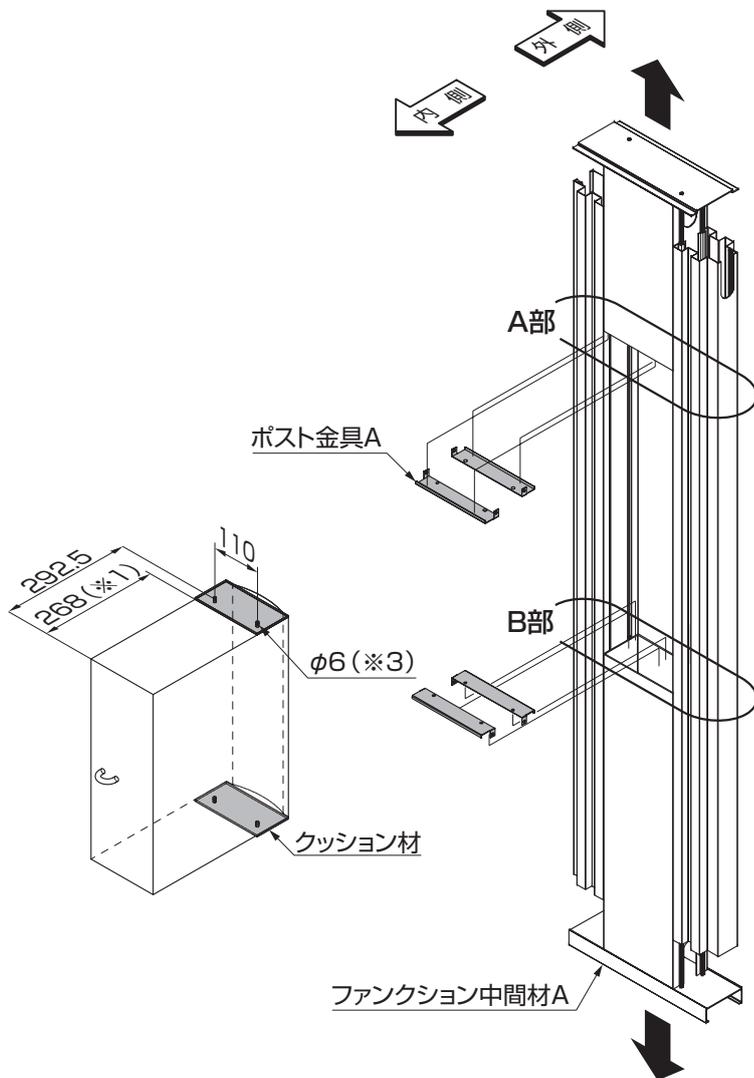
ポイント

- 調整金具には上下があります。
- H2000に門扉を取付ける場合は、調整金具を3個使用します。調整金具H 下、調整金具H 上の順に取付けてください。
- 調整金具の取付位置は、「1.基本寸法と各部の名称」を参照してください。

6. ポストの取付け

6-1 縦型ポスト、セキュリティ縦型ポスト、フラット縦型ポストの場合

※図はP1型の作業です。P1R型、P2型、P2R型の場合も同様の作業です。



①ポスト本体上下にクッション材を貼付けてください。(※1)

ポイント

●クッション材は大きさに合わせて切断してください。

②ファンクション中間材Aを引き抜いてください。

ポイント

●ファンクション中間材Aには表裏があります。V溝(*2)側を内側にしてください。(図6-3参照)

③上下のファンクション中間材Aにポスト金具Aをすき間ができないように押し当てながら【1-2】で取付けてください。

ポイント

●取付けにはピასネジを使用していますが、取付けにくい場合は、φ3.2程度の下孔をあけた後、ピასネジで止めてください。

④ポストにポスト固定用孔をけがいてください。

⑤けがいた位置にφ6(*3)の下孔をあけてください。

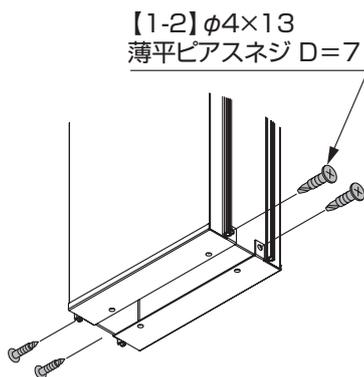


図6-1 A部詳細

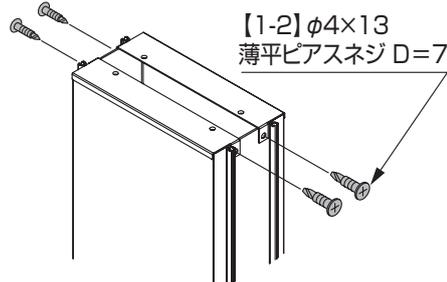


図6-2 B部詳細

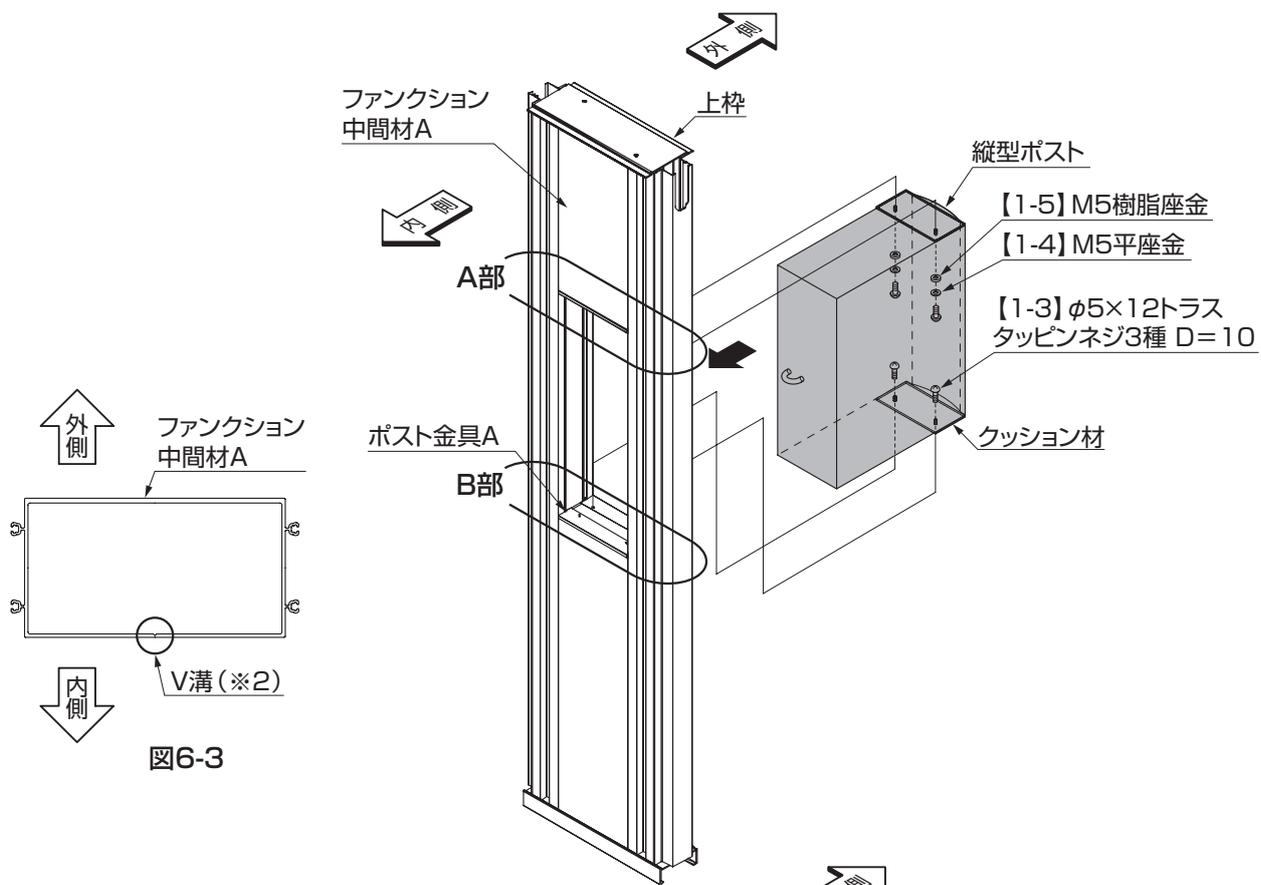


図6-3

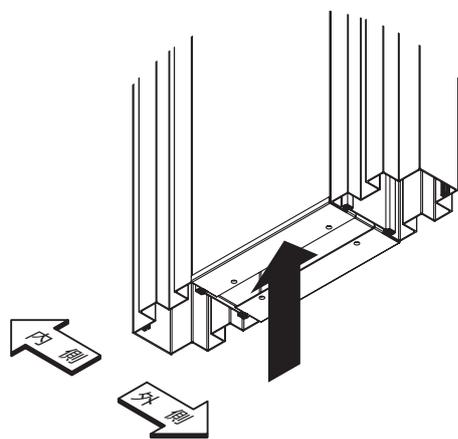


図6-4 A部ポスト固定位置詳細

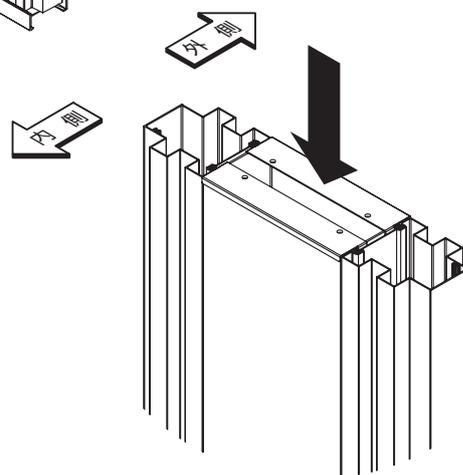


図6-5 A部ポスト固定位置詳細

⑥ファンクション中間材Aを元の位置に戻してください。

ポイント

- 必ず引き抜く前の向きに戻してください。

⑦ポストをはめ込んでください。(図6-4, 図6-5参照)

ポイント

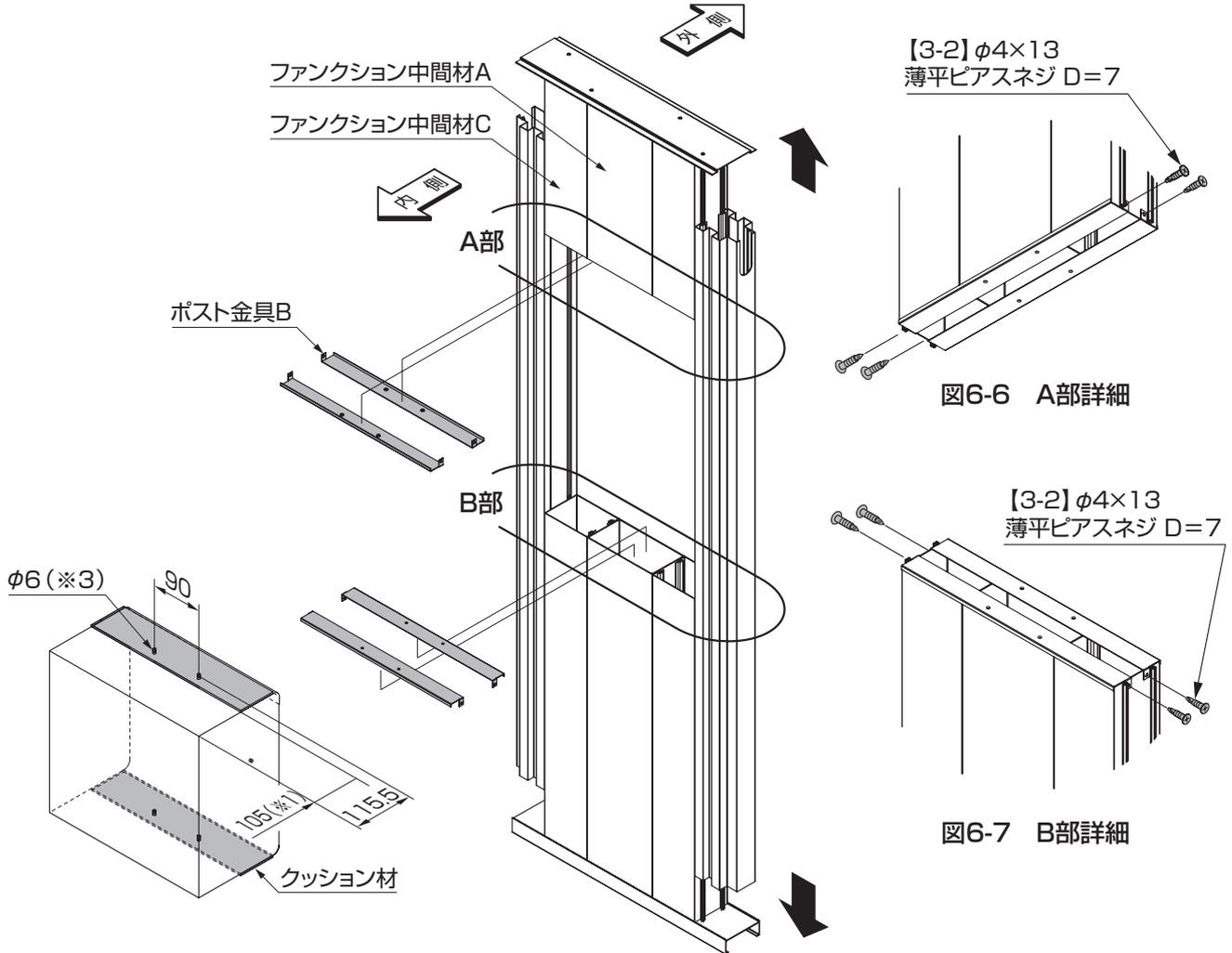
- クッション材がパネルよりはみ出しすぎないようにしてください。

⑧ポスト本体とポスト金具Aを上側は【1-3】、【1-4】、【1-5】、下側を【1-3】で固定してください。

6. (つづき)

6-2 横型ポストの場合

※図はP3型の作業です。P3R型の場合も同様の作業です。



①ポスト本体上下にクッション材を貼付けてください。(※1)

🔑ポイント

●クッション材は大きさにあわせて切断してください。

②ファンクション中間材A, ファンクション中間材Cを引き抜いてください。

🔑ポイント

●ファンクション中間材A, ファンクション中間材Cには表裏があります。V溝(※2)側を内側にしてください。(図6-8参照)

③上下のファンクション中間材Cにポスト金具Bをすき間ができないように押し当てながら【3-2】で取付けてください。

🔑ポイント

●取付けにはピアスネジを使用していますが、取付けにくい場合は、φ3.2程度の下孔をあけた後、ピアスネジで止めてください。

④ポストにポスト固定用孔をけがいてください。

⑤けがいた位置にφ6(※3)の下孔をあけてください。

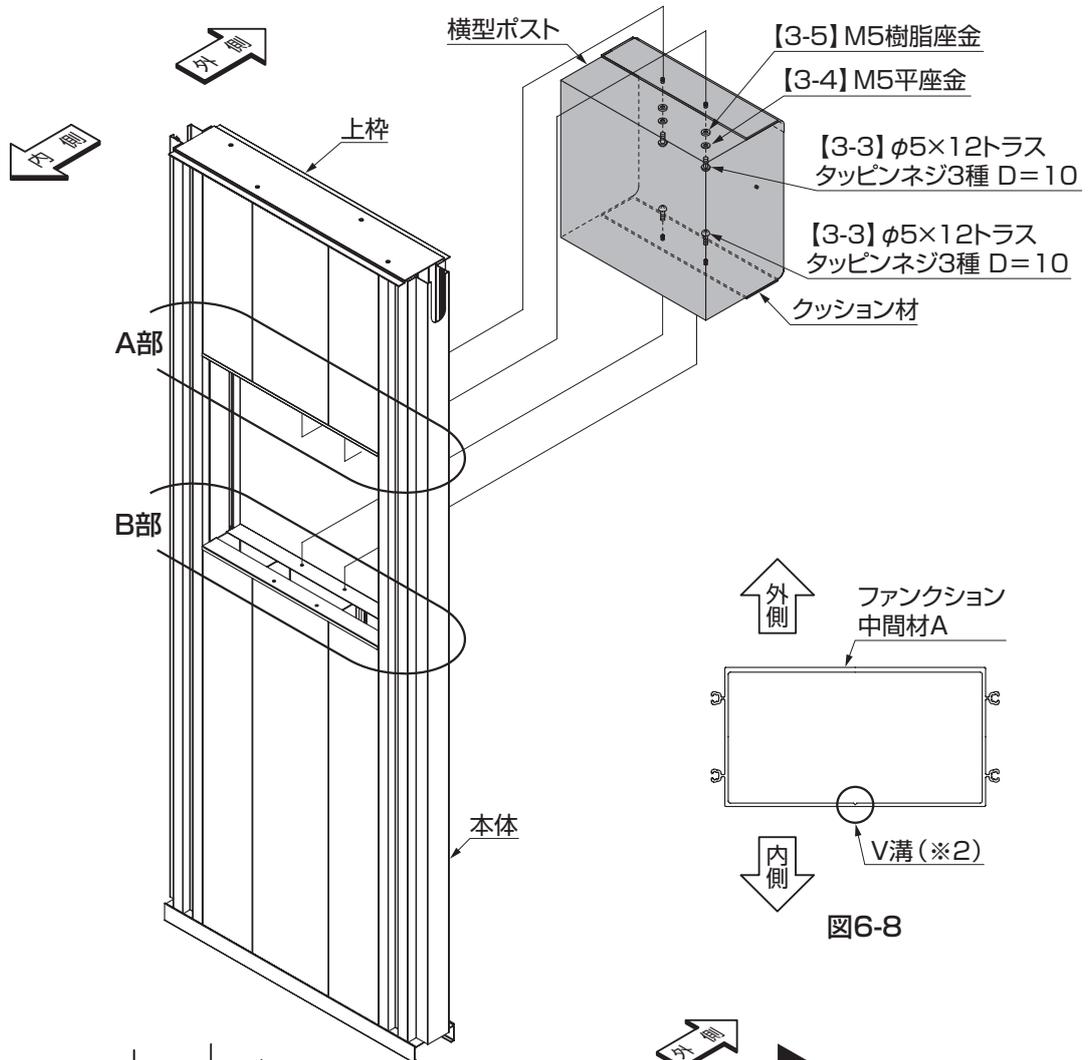


図6-8

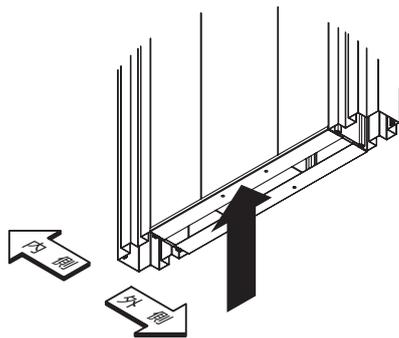


図6-9 A部ポスト固定位置詳細

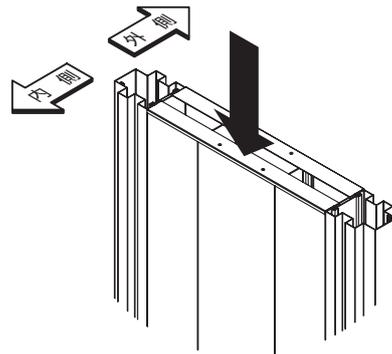


図6-10 B部ポスト固定位置詳細

⑥ファンクション中間材A, ファンクション中間材Cを元の位置に戻してください。

ポイント

- 必ず引き抜く前の向きに戻してください。

⑦ポストをはめ込んでください。(図6-9, 図6-10参照)

ポイント

- クッション材がパネルよりはみ出しすぎないようにしてください。

⑧ポスト本体とポスト金具Bを上側は【3-3】、【3-4】、【3-5】、下側を【3-3】で固定してください。

6. (つづき)

6-3 口金ポストの場合

※図はP4A型の作業です。P4AR型、P4B型、P4BR型の場合も同様の作業です。

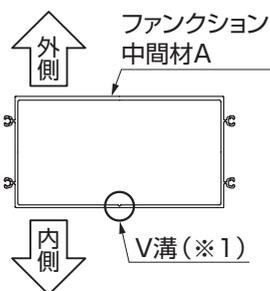
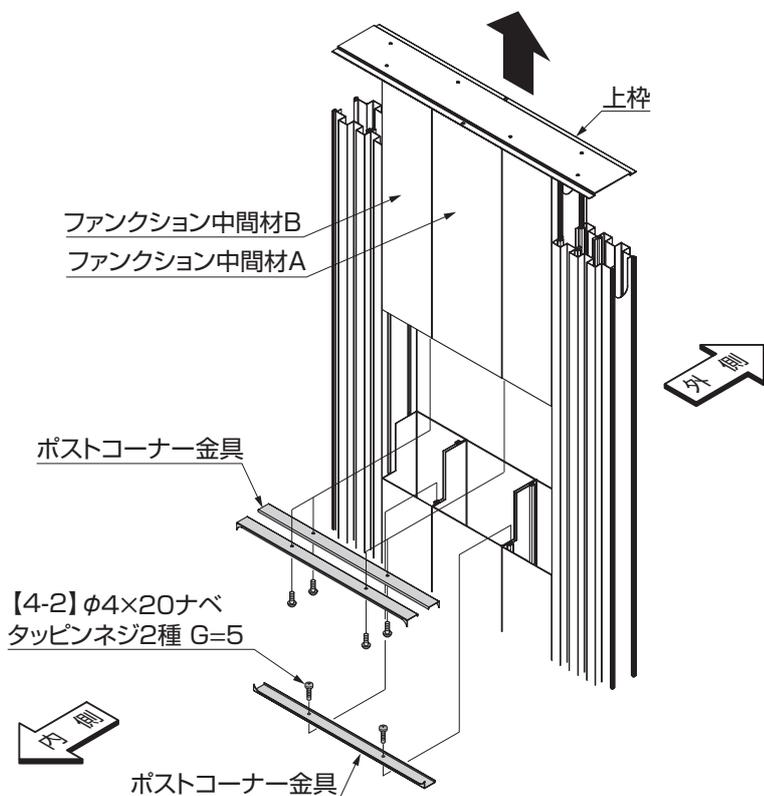


図6-11

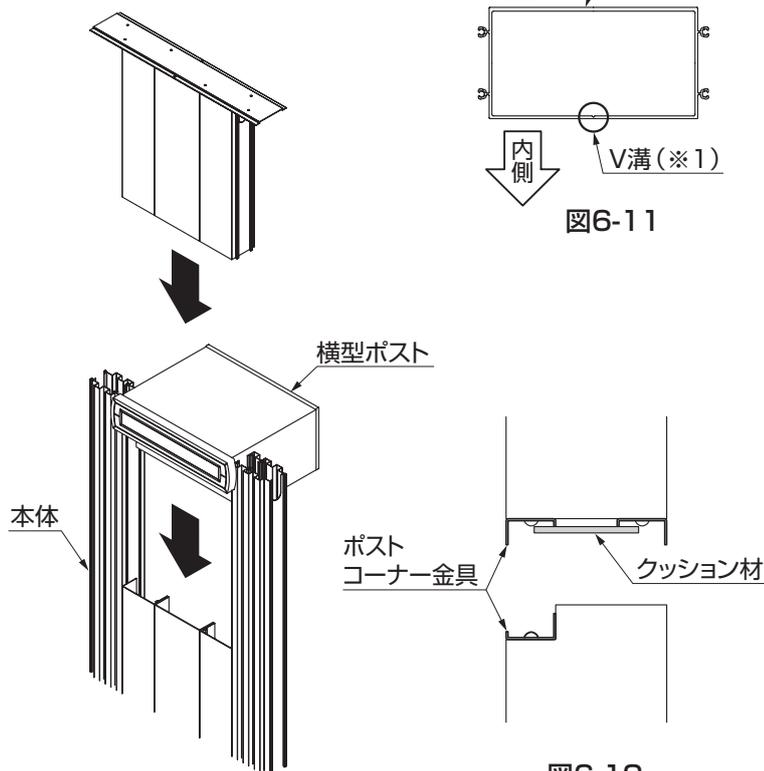


図6-12

- ①ファンクション中間材A、ファンクション中間材Bを引き抜いてください。

ポイント

- ファンクション中間材A、ファンクション中間材Bには表裏があります。V溝(※1)側を内側にしてください。(図6-11参照)

- ③上側のファンクション中間材Aおよび下側のファンクション中間材Aにポストコーナー金具を【4-2】で取付けてください。

- ④上側のポストコーナー金具とファンクション中間材A、ファンクション中間材Bにクッション材を取付けてください。(図6-12参照)

- ⑤ポスト本体の口金を付けたままファンクション本体の上側よりはめてください。

ポイント

- ポスト本体にスペーサーが取付けられている場合は、スペーサーを外してください。

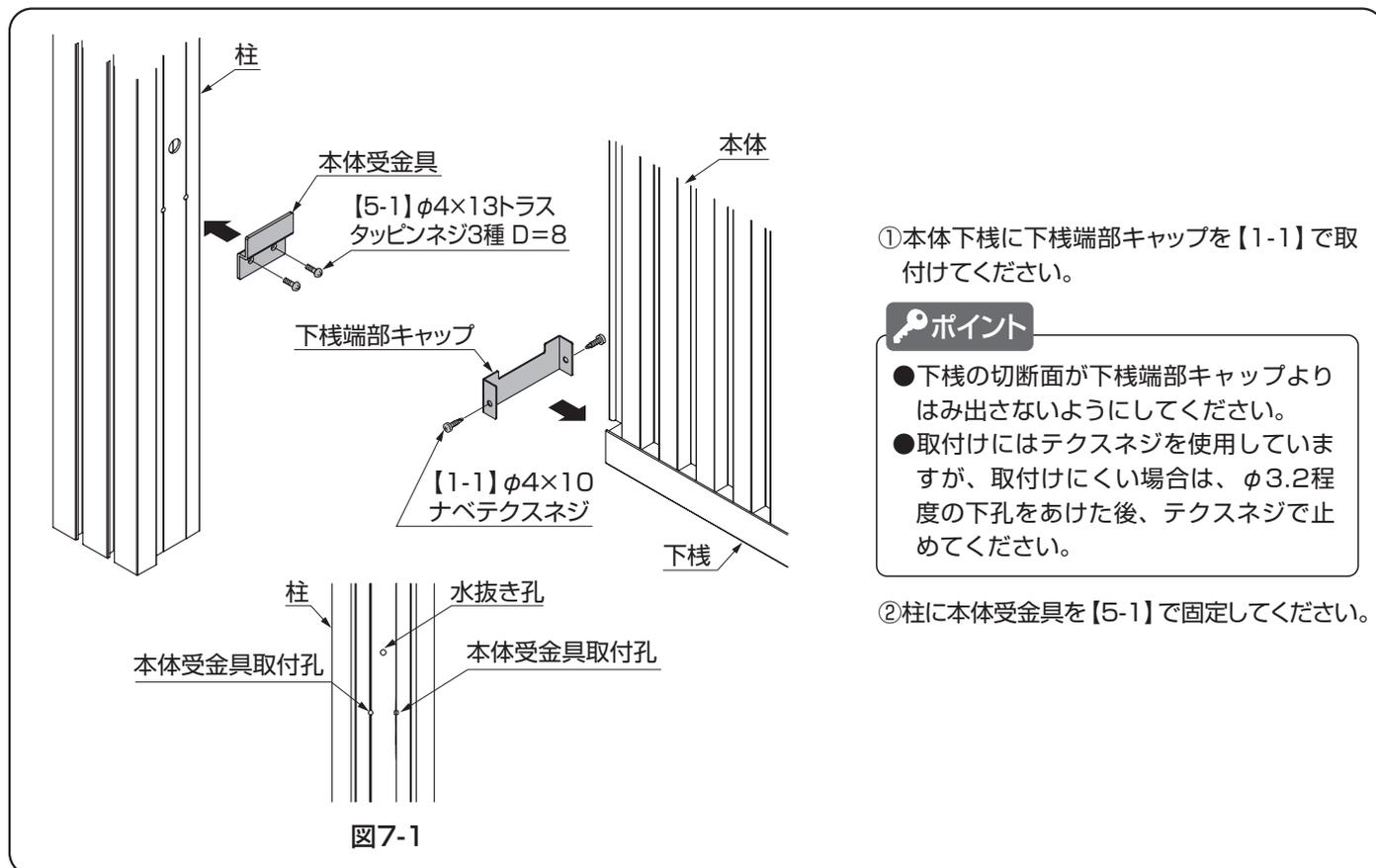
- ⑥ファンクション中間材A、ファンクション中間材Bを元の位置に戻してください。

ポイント

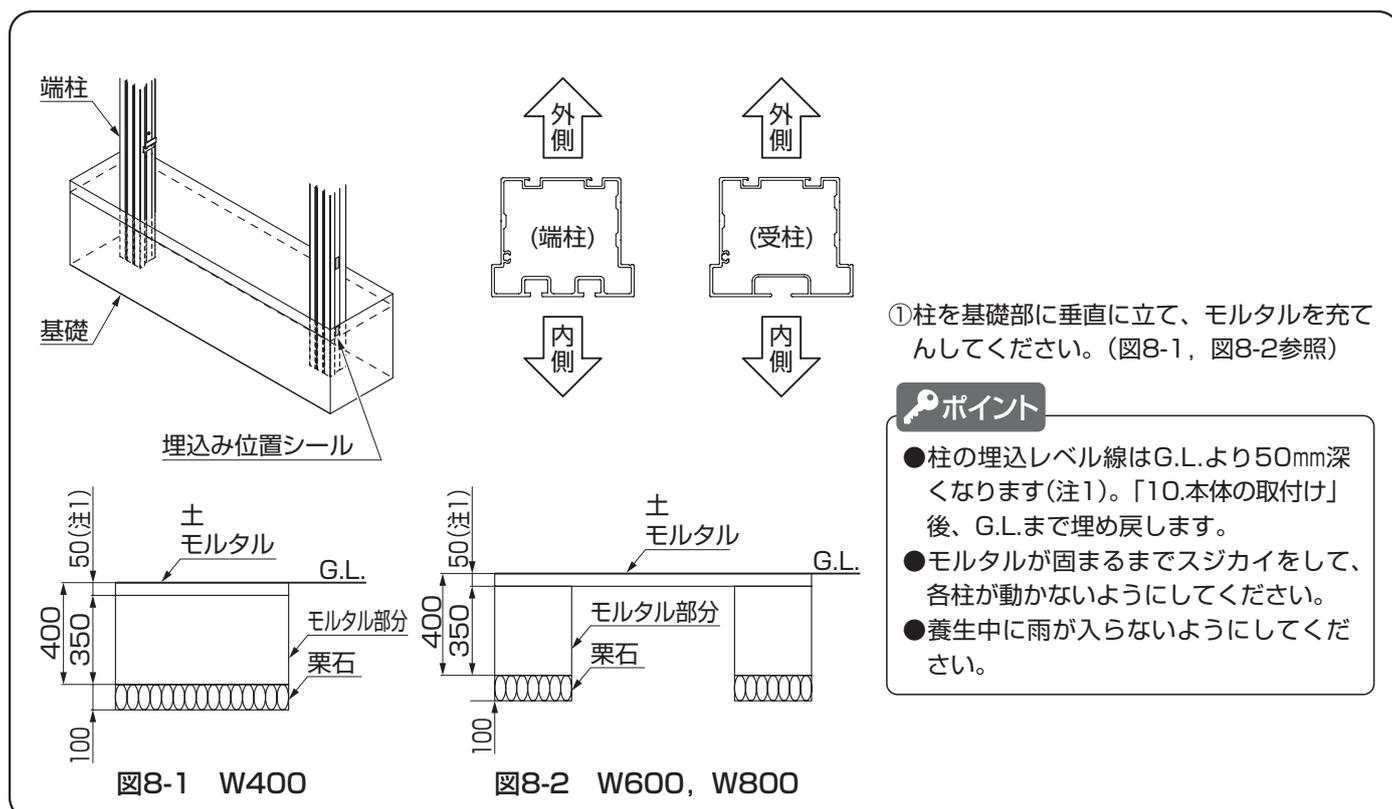
- 必ず引き抜く前の向きに戻してください。

7. 柱の組立て

※図は端柱の作業です。受柱の場合も同様の作業です。



8. 柱の埋込み



9. 本体の連結

※本体を複数施工する場合の作業です。

①ファンクションとウォールを連結する場合は、「アーキモダン支柱・角柱取付説明書(F216)」を参照してください。

10. 本体の取付け

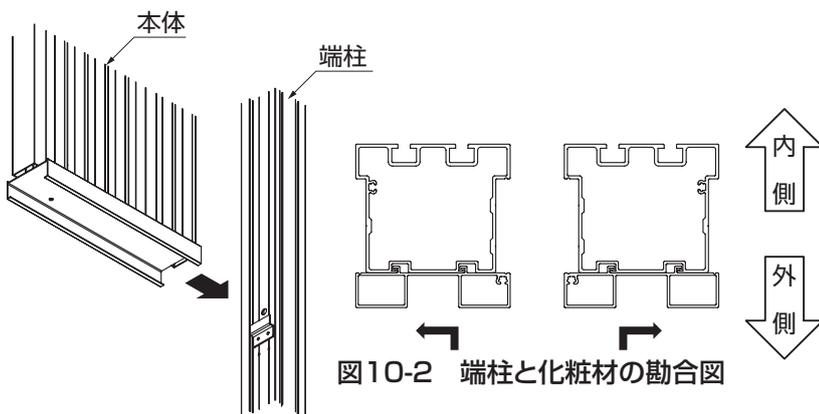
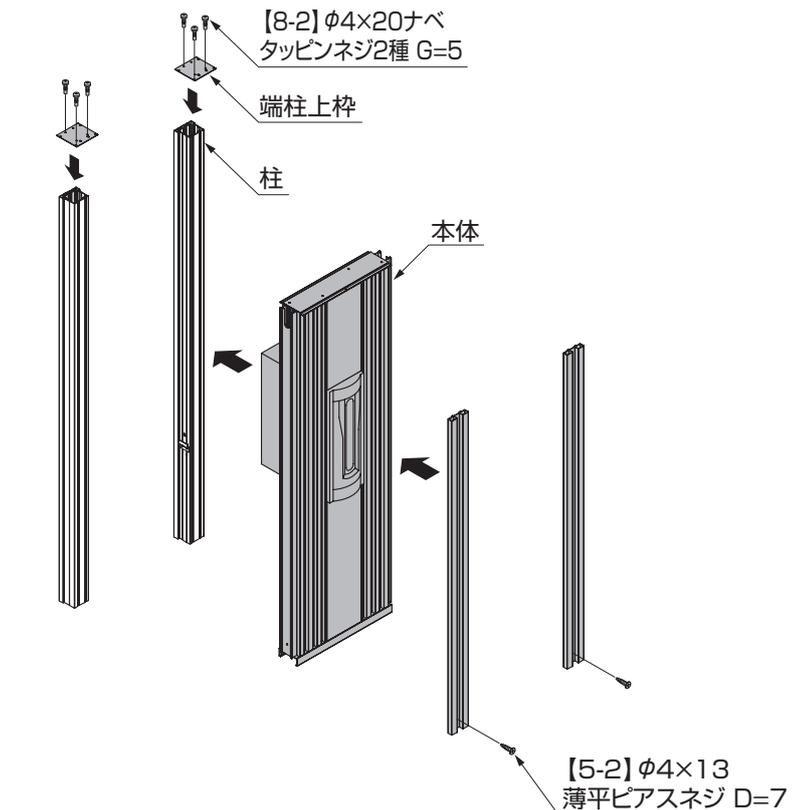


図10-2 端柱と化粧材の勘合図

図10-1

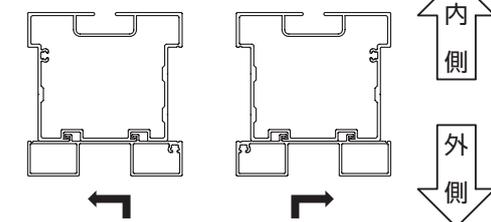


図10-3 受柱と化粧材の勘合図

- ①「7. 柱の組立て」で組付けた本体受金具に本体の端部をはめ込んでください。(図10-1参照)
- ②柱に柱化粧材をはめ込んでください。(図10-2, 10-3参照)
- ③端柱上枠Aを【8-2】で固定してください。
- ④柱化粧材を【5-2】、【8-2】で取付けてください。

ポイント

- 端柱H2000には補強材が入っています。φ3.2程度の下孔をあけた後ピアスネジで止めてください。

補足

- 取付けにはピアスネジを使用していますが、取付けにくい場合は、φ3.2程度の下孔をあけた後、ピアスネジで止めてください。

- ⑤柱および本体を50mm埋め戻してください。

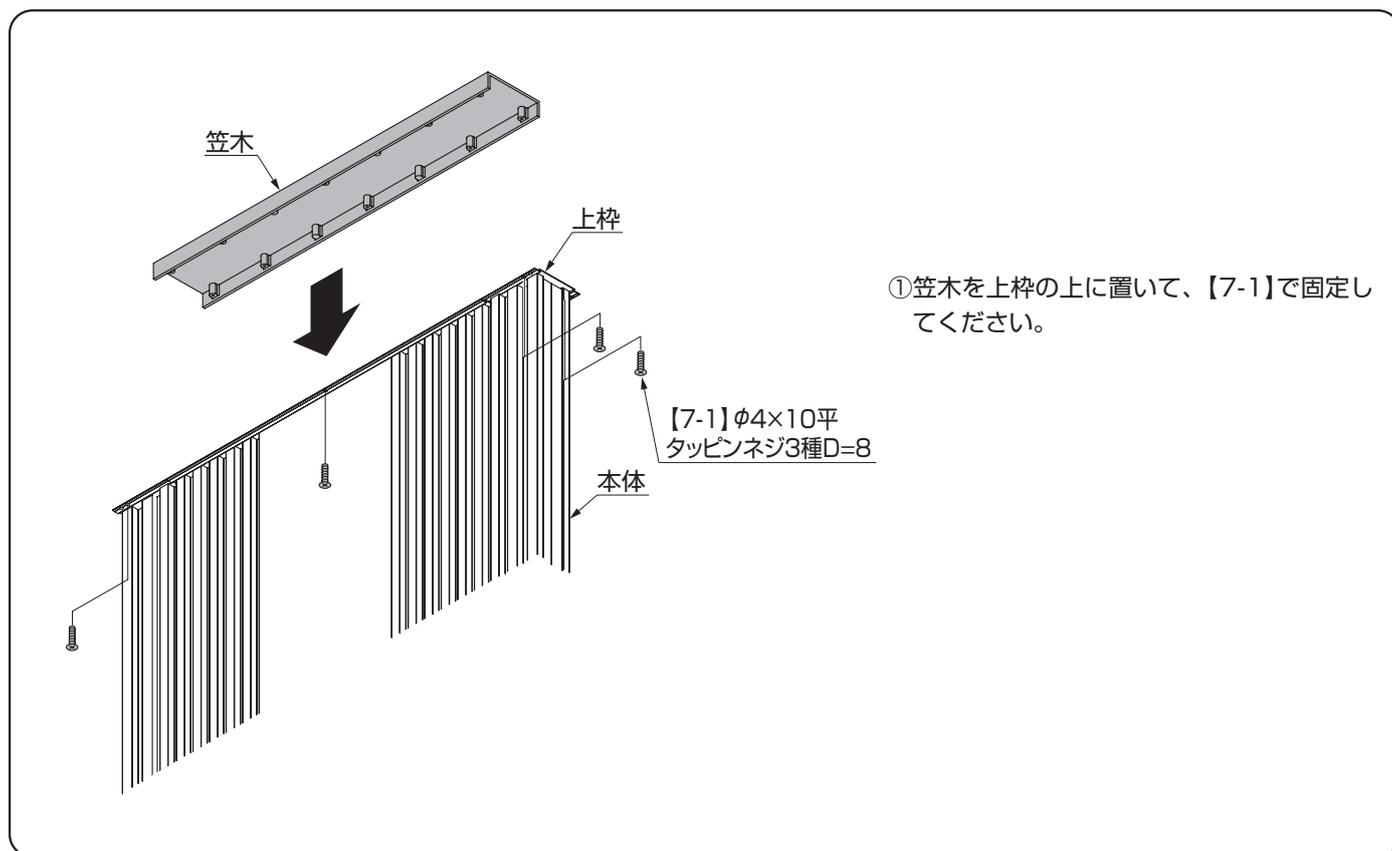
注意

- 埋め戻さないと強度低下の原因となります。

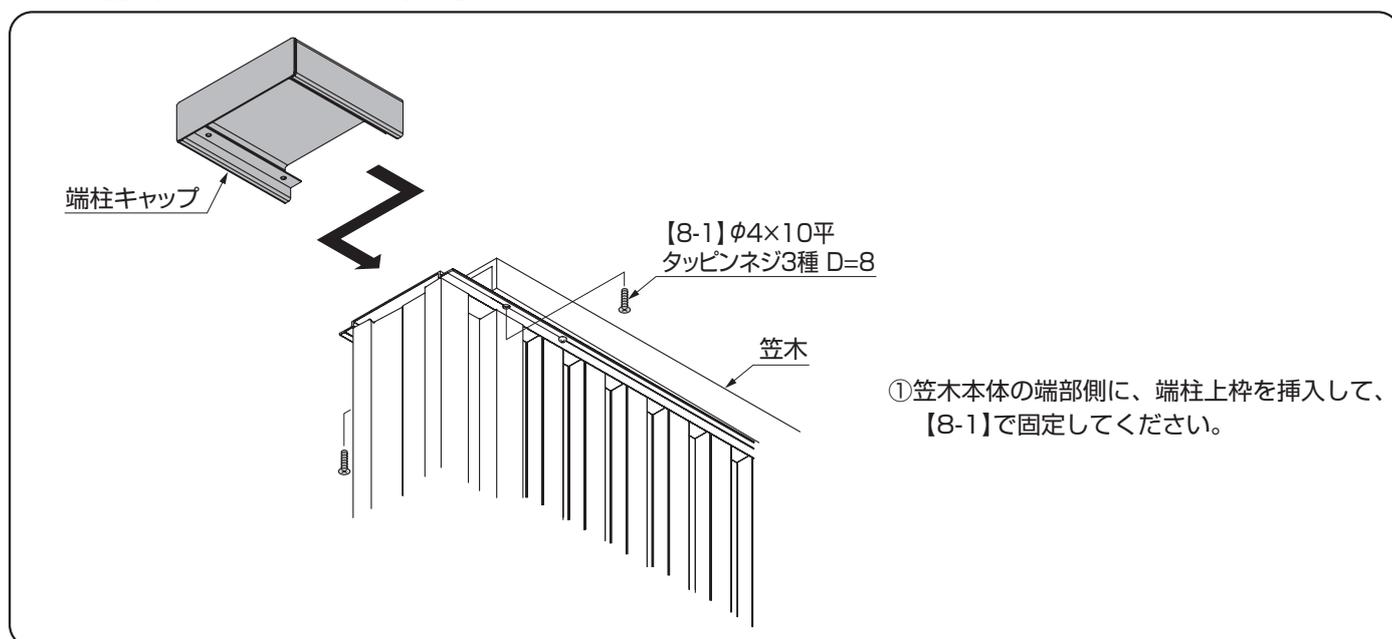
ポイント

- 埋込み寸法の詳細は「8.柱の埋込み」を参照してください。

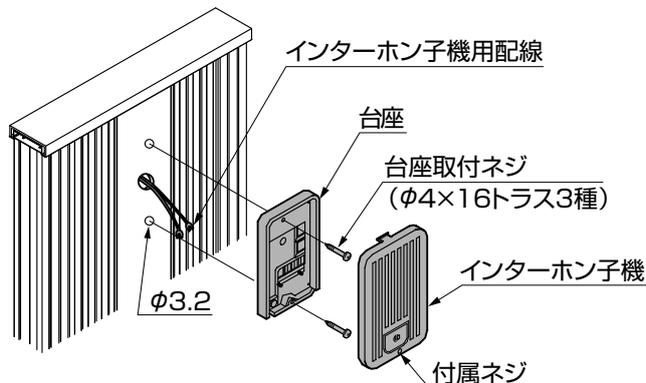
11. 笠木の取付け



12. 端部キャップの取付け

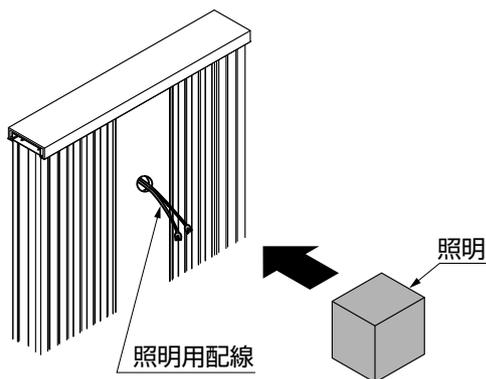


13. インターホン子機の取付け **オプション**



- ① インターホン子機を、付属ネジをゆるめてから取外してください。
- ② 台座を台座取付ネジで取付けてください。
- ③ 配線をインターホン子機の裏型端子台に接続してください。
- ④ カバーにインターホン子機を取付け、付属ネジを締めて固定してください。

14. 照明の組付け **オプション**

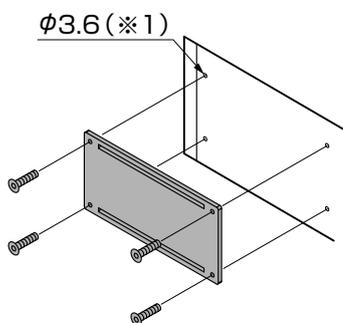


注意

● 照明用配線とその他の配線は間違えないでください。また配線の+、-、端子番号の接続は間違えないでください。故障の原因になります。

- ① 取付ける照明の取付孔位置を確認してください。
- ② 各照明の取付けおよび配線は、各照明付属の取付説明書にしたがって行なってください。

15. サインの取付け **オプション**



- ① サインを取付ける位置に合わせて、取付孔位置をけがいてください。
- ② けがいた位置にφ3.6(※1)の下孔をあけてください。
- ③ 各サインに付属のネジでサイン本体を固定してください。

取説コード

F217

JZZ611562E
200602A_1042
201607F_1049